



2025年3月期 第2四半期決算説明会



(ご参考) 表紙画像：新型「フロンクス」発表会

当社は2025年3月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用いたしました。
そのため、本ページ以降は前期・当期ともにIFRSに基づき作成しております。

2025年3月期 第2四半期決算

- ・ 為替影響に加え、各部門における収益改善努力により増収増益
- ・ 特に国内四輪事業の価格改定やモデルミックス改善が貢献
- ・ 個の力を高め、稼ぐ力を上げていく収益改善対策の効果が表れはじめている

2025年3月期 通期業績予想

- ・ 上期実績 および 経営環境の変化を反映し、前回予想から上方修正
- ・ 売上収益 5兆6,000億円、営業利益5,500億円を見込む
- ・ 成長戦略実現に向けた研究開発費や固定費等の増加をカバーできるよう引き続き、稼ぐ力を上げていく

2025年3月期 第2四半期決算のサマリーをご説明いたします。

当第2四半期につきましては、為替影響に加え、
各部門における収益改善努力により、増収増益となりました。
特に国内四輪事業において、
価格改定やモデルミックスの改善が増益に貢献しました。
個の力を高め、稼ぐ力を上げていく収益改善対策の効果が、
徐々に表れはじめていると感じています。

通期業績予想につきましては、
上期実績、および経営環境の変化を反映し、前回予想から上方修正しました。
売上収益は5兆6,000億円、
営業利益は前回予想から700億円の上方修正となる5,500億円を見込みます。
成長投資のための研究開発費や固定費等の増加をカバーできるよう
稼ぐ力を上げていきます。

- ・通期業績予想を上方修正したことに伴い、中間配当は前回予想から2円の上方修正
- ・新中期経営計画では株主還元方針を含め資本政策を発表予定

■ 配当

- ・中間配当 1株当たり20円（前期※から+6.25円の増配、前回予想から+2円の上方修正）
- ・年間配当 1株当たり40円（前期※から+ 9.5円の増配、前回予想から+4円の上方修正）
- ・配当性向22.0%

※当社は2024年4月1日を効力発生日として、1株につき4株の割合にて株式分割を実施

- ・前期の中間配当は 55円、株式分割(4分割)後の換算では13.75円
- ・前期の年間配当は122円、株式分割(4分割)後の換算では30.5円

続いて、株主還元についてご説明いたします。

今回、通期業績予想を上方修正したことに伴い、
配当につきましても、前回予想から上方修正いたしました。

中間配当につきましては、
前回予想から 2円上方修正し、1株当たり 20円とさせていただきました。
同時に、年間配当につきましても、
前回予想から 4円上方修正し、1株当たり 40円とさせていただきました。

なお、新中期経営計画では、
株主還元方針を含め資本政策を発表させていただく予定です。

私からの決算の総括は以上となります。

続いて、決算の詳細について、岡島より、説明させていただきます。

サマリー	2
株主還元	3
2025年3月期第2四半期決算	5～13
総括	5
営業利益増減要因	6
事業別業績、営業利益増益要因	7
四輪・二輪台数実績	8～13
通期業績予想	14～19
総括	14
営業利益増減要因	15～17
四輪・二輪台数情報	18～19
補足資料	20～29

2025年3月期 第2四半期決算 | 総括



(億円)		当第2四半期 ('24/4-9)	前年同期 ('23/4-9)	増	減	補足※1
					増減率	
連結 業績	売上収益	28,550	25,561	+ 2,989	+ 11.7%	4期連続増収
	営業利益 (利益率)	3,349 (11.7%)	2,381 (9.3%)	+ 968	+ 40.7%	4期連続増益
	税引前利益 (利益率)	3,765 (13.2%)	2,881 (11.3%)	+ 883	+ 30.7%	4期連続増益
	中間利益※2 (利益率)	2,175 (7.6%)	1,511 (5.9%)	+ 663	+ 43.9%	4期連続増益
為替 レート	米ドル	153円	141円	+ 12円	+ 8.3%	
	ユーロ	166円	153円	+ 13円	+ 8.2%	
	インドルピー	1.84円	1.72円	+ 0.12円	+ 7.0%	
世界 販売	四輪車	1,566千台	1,535千台	+ 30千台	+ 2.0%	日本、パキスタン、欧州等で増加
	二輪車	1,022千台	958千台	+ 64千台	+ 6.7%	インド、中南米等で増加

※1 補足のコメントは第2四半期累計としての評価
 2 中間利益は親会社の所有者に帰属する中間利益

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved. 5 / 19

まず、今回の決算の概要をご説明いたします。

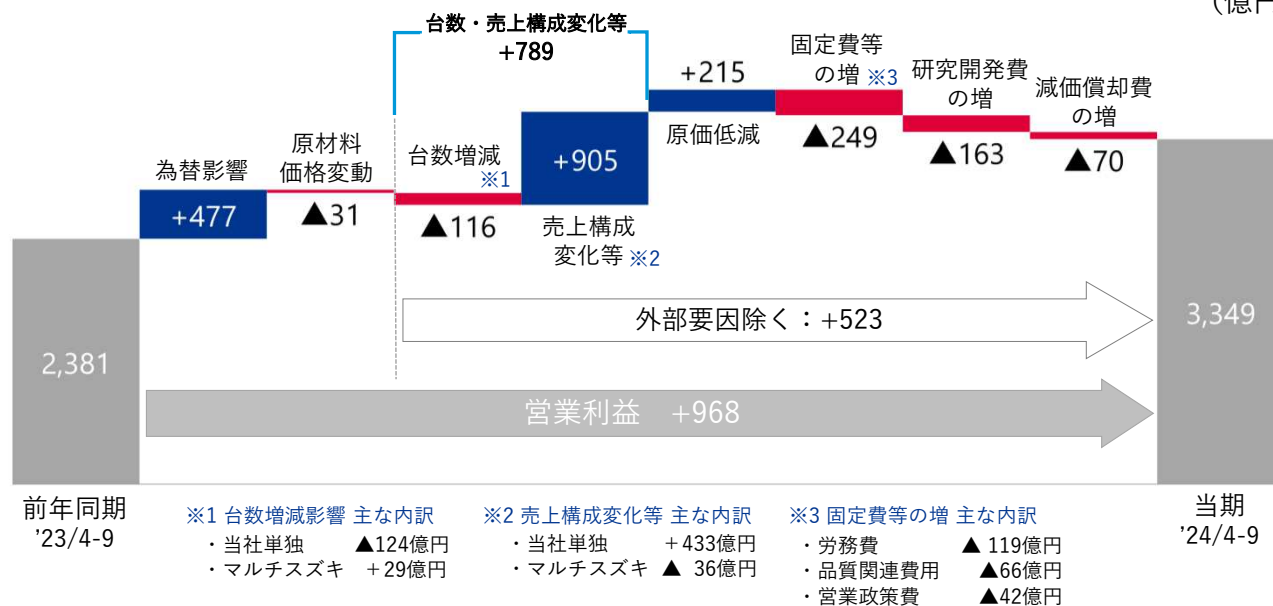
売上収益は、販売台数が増加したこと等により、
 2兆8,550億円と前年同期に比べ、2,989億円増加しました。

営業利益は売上構成変化の改善や為替円安効果等により、
 3,349億円と前年同期に比べ、968億円増加しました。

税引前利益は、3,765億円と前年同期に比べ、883億円増加、
 中間利益は、2,175億円と前年同期に比べ、663億円増加しました。

四輪車の販売は、日本、パキスタン、欧州等で増加し、
 世界販売合計では3万台増加しました。
 二輪車の販売は、インド、中南米等で増加し、
 世界販売合計で6万4千台増加しました。

(億円)



© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

6 / 19

前年同期と比較した営業利益の増減要因は、ご覧の通りです。

外部要因としては、

- ・為替影響で477億円の増益、
- ・原材料価格変動については、国内における部品の仕入価格の見直し等により31億円の減益となりました。

外部要因を除く項目では、

増益要因として、

- ・国内四輪車の価格改定等により、売上構成変化等で905億円
 - ・原価低減により215億円
- の増益となりました。

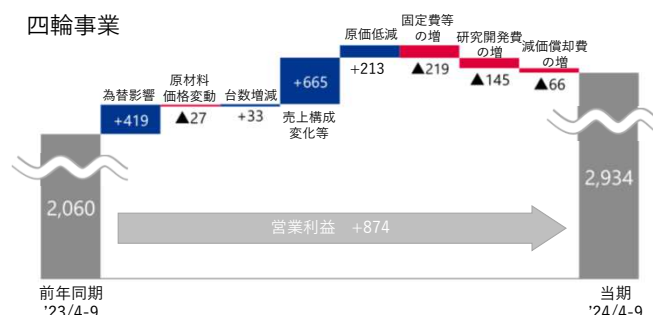
減益要因としては、

- ・当社単独での船外機の出荷調整等により、台数減で116億円
 - ・成長投資や人的資本投資の拡大として、
 - ・主に労務費の増加により、固定費等の増で249億円
 - ・研究開発費の増加により163億円
 - ・減価償却費の増加により70億円
- の減益となりました。

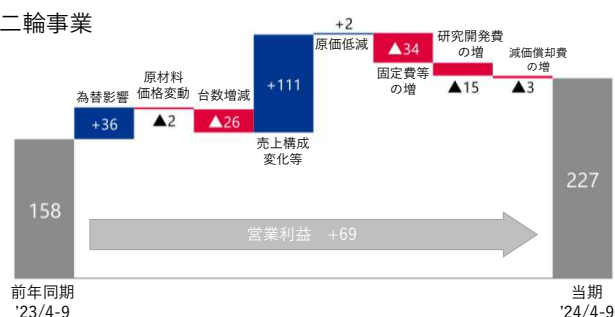
単位：億円

	'24/4-9					'24/7-9				
	売上収益		営業利益			売上収益		営業利益		
	前年比		前年比	前年比	利益率	前年比		前年比	前年比	利益率
四輪	25,945	+12%	2,934	+42%	11.3%	12,745	+4%	1,570	+27%	12.3%
二輪	1,983	+11%	227	+44%	11.4%	935	+1%	106	+8%	11.3%
マリン	566	▲7%	170	+16%	30.1%	265	▲4%	89	+65%	33.8%
その他	55	+1%	18	+15%	33.2%	28	▲6%	9	+5%	32.5%
連結計	28,550	+12%	3,349	+41%	11.7%	13,974	+3%	1,774	+27%	12.7%

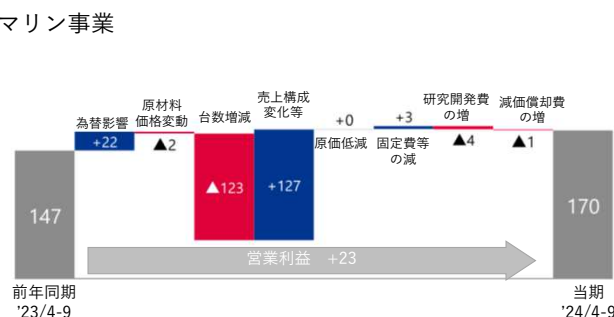
四輪事業



二輪事業



マリン事業



© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

7 / 19

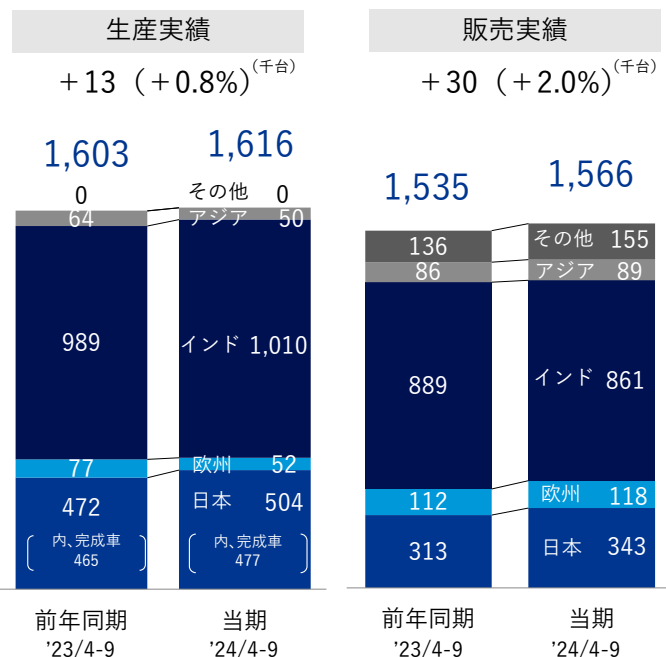
次に事業別の業績についてご説明いたします。

四輪事業につきましては、
台数増加や売上構成変化等の改善により、増収増益となりました。

二輪事業につきましては、
為替影響や売上構成変化等の改善により、増収増益となりました。

マリン事業につきましては、減収増益となりました。

なお、台数増減および売上構成変化等につきまして、
北米販売子会社の在庫削減に伴い、
本社出荷台数の減少により、台数増減項目は減益要因となりましたが、
現地側の在庫削減により、売上構成変化等項目は増益要因となりました。



● 当期の世界販売 (千台)

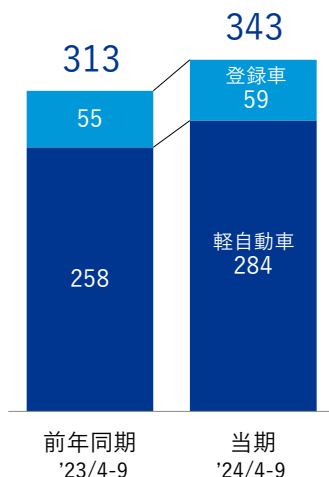
	台数	前年同期比	
世界販売	1,566	+30	+2.0%
日本	343	+30	+9.7%
欧州	118	+5	+4.8%
インド	861	▲28	▲3.1%
アジア (除インド)	89	+3	+3.2%
パキスタン	32	+14	+74.1%
インドネシア	32	▲6	▲16.1%
タイ	3	▲4	▲55.8%
その他	155	+19	+14.3%
中南米	60	+7	+13.9%
アフリカ	50	+1	+1.7%
中近東	31	+10	+49.6%
大洋州	14	+1	+7.8%

次に生産、販売の状況についてご説明いたします。

四輪車につきまして、
日本、パキスタン、欧州等にて販売台数が増加し、
生産・販売ともに前年同期を上回りました。

販売実績

+ 30 (+9.7%)^(千台)



● 当期の国内販売

- ・ 安定した生産と、新車効果により販売台数が増加
- ・ 新型スペーシアギアの販売が好調

国内販売台数推移 (千台)



● 新型「フロンクス」発売

- ・ 10月16日、新型「フロンクス」を発売
- ・ 受注は好調 (1万台を突破)



© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

9 / 19

日本の販売実績につきましては、
安定した生産と、スペーシアの販売が好調なこと等により、
販売台数が増加しました。

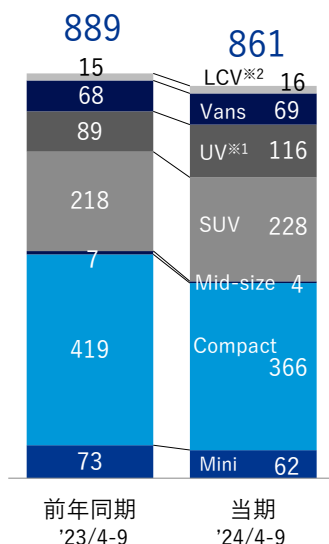
10月16日には新型「フロンクス」を発売いたしました。

フロンクスは従来のSUVにはない力強さ、上質さ、
洗練さを併せ持ったクーペスタイルSUVです。
この魅力を発表前の段階から早期に市場浸透を図れるよう、
例えば、メディアや自動車系YouTuber向けに試乗会を開催するなど、
弊社として新しい取り組みを実施いたしました。

おかげさまで受注は大変好調で、10月末時点で1万台を突破いたしました。

販売実績

▲28 (▲3.1%) (千台)



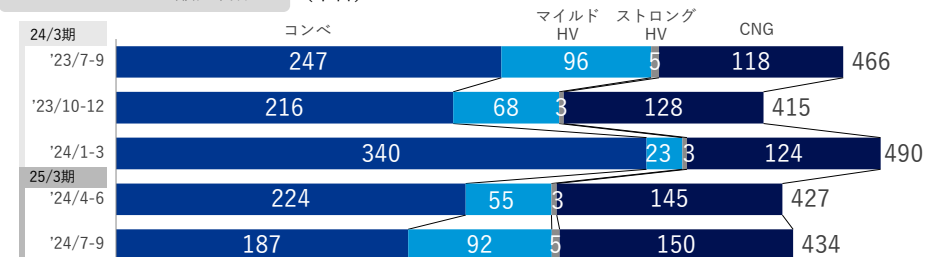
● 販売状況

- ・ 小型車の販売が期初想定を下回ったため、生産調整を実施
現在、在庫は適正水準
- ・ ディワリ期の販売は前年比で約1割増

● マルチパスウェイの取り組み

- ・ CNG車、HEVなど多様な選択肢を提供
- ・ 新型スイフトのCNGモデルを発売開始

パワートレイン別販売台数 (千台)



注. 左側グラフは商用車(LCV)を含む卸販売実績、OEMは除く

※1 UV=Utility Vehicles (Ertiga等) ※2 LCV=Light Commercial Vehicles

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

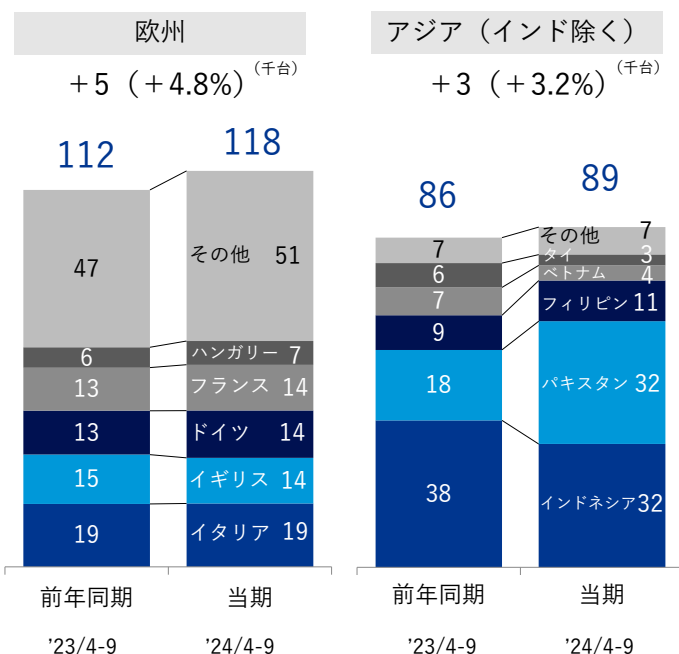
当期のインドの販売につきましては、
小型車の販売が期初想定を下回ったため、生産調整を実施いたしました。

生産調整の結果、在庫は適正水準にまで戻すことができました。

また、インドのお祭り期間であるディワリ期の販売では、
前年比で約1割増しとなりました。

カーボンニュートラルに向けて、
HEVやCNGなど多様な選択肢を提供し、
マルチパスウェイで取り組んでいます。

特にCNG車は、乗用全体市場においても比率が高まっており、
スズキのインド販売におけるCNG比率は
前年同期の25%から35%へと上昇しました。



● トピックス

◆ 欧州

- ・スワフトの販売が引き続き堅調



◆ パキスタン

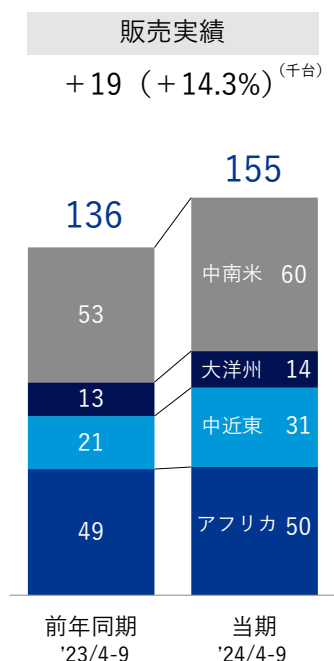
- ・豊作による個人需要が引き続き堅調
(前年同期比 +74.1%)
- ・10月14日に日本の軽商用車「エブリイ」を投入

続いて、欧州とアジアの販売状況です。

欧州では、新型スワフトの投入により台数は増加しました。

パキスタンでは、
前年同期が部品の輸入制限に伴い販売が落ち込んでいたこと、
および 当期は豊作による個人需要が堅調なため、
前年同期と比べて74%増加しました。

また、軽乗用車の「アルト」に引き続き、
軽商用車「エブリイ」を投入し、
さらなる拡販に取り組んで参ります。



● トピックス

- ・ 中近東や中南米等で販売台数が増加
- ・ 南アフリカはシェア11.5%に伸長
- ・ メキシコでは昨年度の落ち込みから回復
新型スイフトの販売が好調

● 当期の販売

	台数	(千台)	
		前年同期比	
アフリカ	50	+1	+1.7%
南アフリカ	28	+3	+14.0%
中近東	31	+10	+49.6%
サウジアラビア	18	+8	+75.1%
大洋州	14	+1	+7.8%
中南米	60	+7	+13.9%
メキシコ	21	+4	+19.9%
チリ	10	+2	+17.8%

その他地域の販売につきましては、
中近東、中南米、南アフリカ等で販売台数が増加しました。

(ご参考)

南アフリカでのシェア

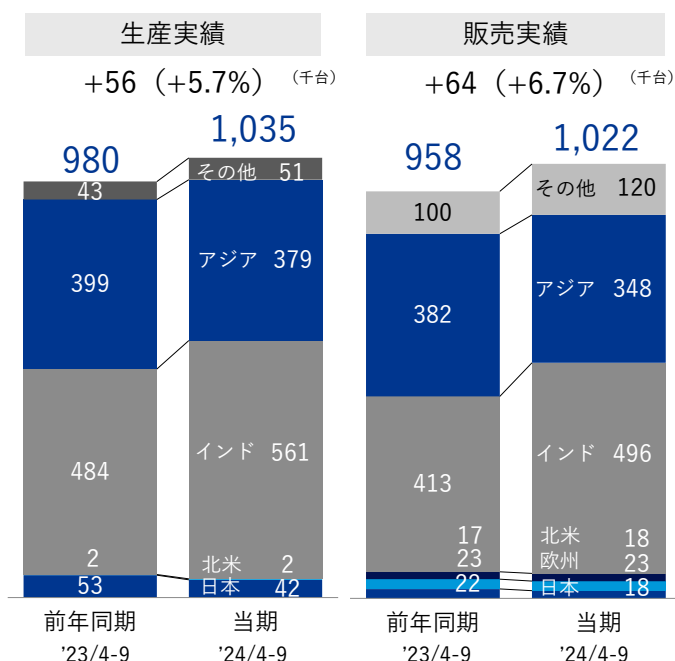
2020年度 4.8%

2021年度 6.4%

2022年度 9.4%

2023年度 10.0%

2024年度 (4-9月) 11.5%



● インドの販売状況

- ・当期の販売は496千台(前年同期比 +20.1%)と増加
- ・AccessやV-Strom250SXの販売好調による

● 国内でユーザーミーティングを実施

- ・9月8日開催 KATANAミーティング
- ・10月20日開催 GSX-S/Rミーティング(初開催)
- ・GSX-S/Rミーティングでは、ユーザーミーティングとして初めて浜松工場見学を実施、見学者1,005人が参加
- ・スズキファンづくりと共に、顧客満足度向上に取り組んでいる



© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved. 13 / 19

二輪事業につきましては、

インドでは、Accessを中心にスクーター販売が堅調で、全体市場以上の伸長率となり、生産・販売ともに前年を上回りました。

トピックスとしまして、

国内では二輪のユーザーミーティングを実施しました。

今回、初めて開催しましたGSX-S/Rミーティングは、ユーザーミーティングとして、参加台数、来場者数とも過去最高となり、大変盛り上がりました。

また、このイベントでは、ユーザーミーティングとして初めて浜松工場見学を実施し、多くの方に参加していただきました。

今後もスズキファンづくりと共に、顧客満足度向上に取り組んでいきます。

(ご参考)

- ・9月8日開催 KATANAミーティング
二輪車台数：1,153台、来場者数：1,334人
- ・10月20日開催 GSX-S/Rミーティング
二輪車台数：1,812台(過去最高)、来場者数：2,019人(過去最高)

通期業績予想 | 総括



(億円)		当期 ('24/4-'25/3)	前期 ('23/4-'24/3)	増 減	増減率	補足	前回予想との比較	
							前回予想	増減
連結 業績	売上収益	56,000	53,575	+ 2,425	+ 4.5%	4期連続増収	56,000	—
	営業利益 (利益率)	5,500 (9.8%)	4,938 (9.2%)	+ 562	+ 11.4%	3期連続増益	4,800 (8.6%)	+ 700
	税引前利益 (利益率)	6,200 (11.1%)	5,917 (11.0%)	+ 283	+ 4.8%	5期連続増益	5,500 (9.8%)	+ 700
	当期利益 ^{※1} (利益率)	3,500 (6.3%)	3,170 (5.9%)	+ 330	+ 10.4%	5期連続増益	3,100 (5.5%)	+ 400
為替 レート	米ドル	146円	145円	+ 1円	+1.0%		145円	+ 1円
	ユーロ	160円	157円	+ 3円	+2.1%		157円	+ 3円
	インドルピー	1.76円	1.76円	—	—		1.75円	+ 0.01円
世界 販売	四輪車	3,244千台	3,168千台	+ 76千台	+ 2.4%		3,254千台	▲9千台
	二輪車	2,008千台	1,915千台	+ 93千台	+ 4.9%		1,892千台	+ 116千台
配当	1株当たり 年間配当	40円	30.5円 ^{※2}	+ 9.5円			36円	+ 4円

※1 当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益 ※2 前期の年間配当は122円、株式分割(4分割)後に換算すると30.5円

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

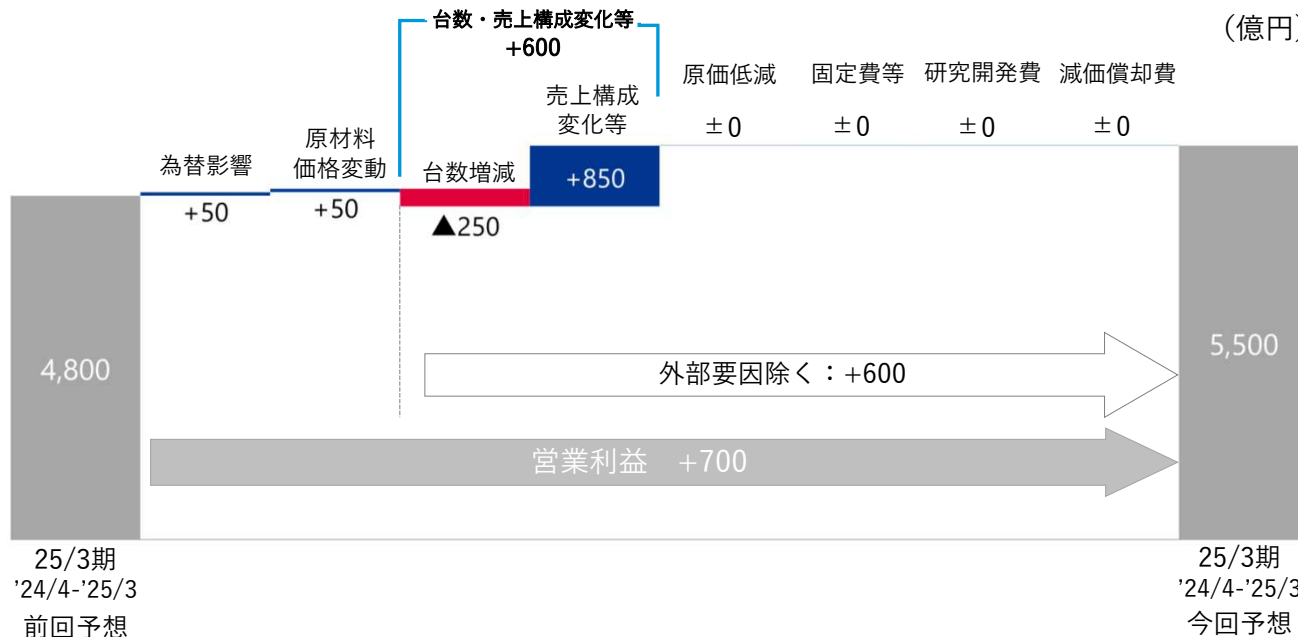
14 / 19

通期業績予想についてご説明いたします。

上期実績 および 経営環境の変化を踏まえ、業績予想を見直しました。

売上収益は、据え置き5兆6,000億円、
営業利益は、前回予想から700億円上方修正し、
5,500億円を見込んでいます。

(億円)



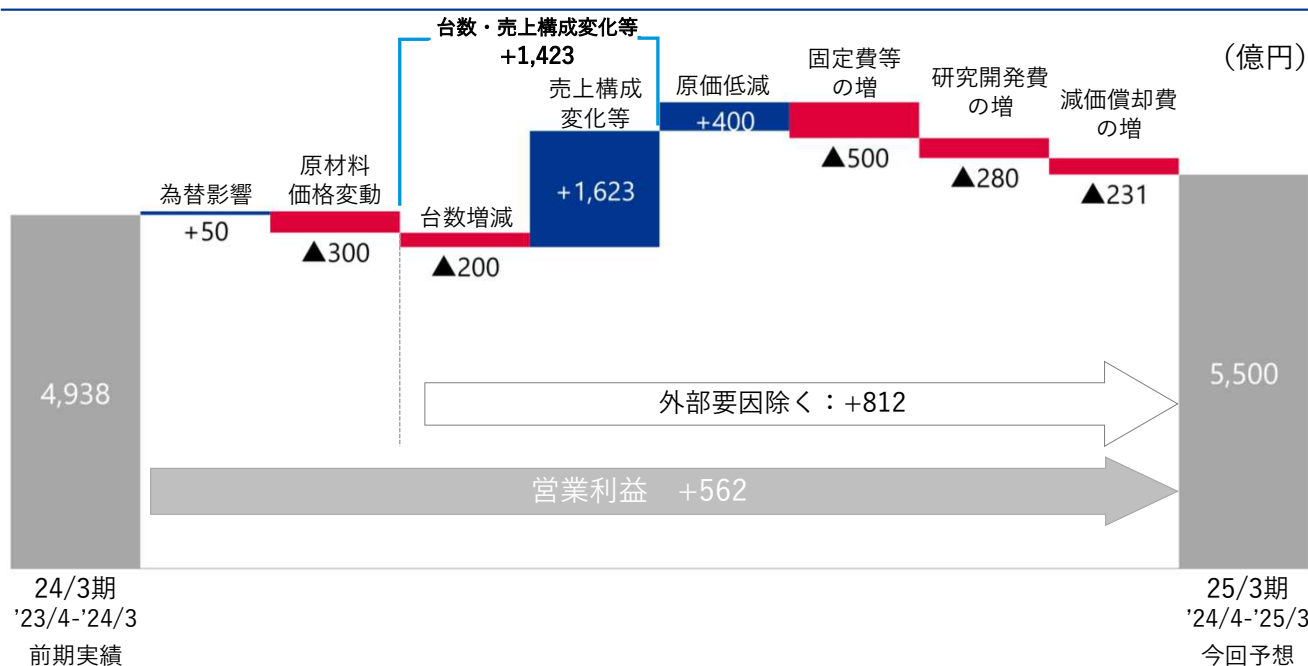
© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved. 15 / 19

営業利益につきまして、
前回予想に対し700億円 上方修正した内訳につきましては、
ご覧の通りとなります。

台数減の影響については、
インドにて上期に実施した四輪車の生産調整の影響や、
当社単独での船外機の輸出台数の見直し等を反映し、
250億円 マイナスを織り込みました。

一方、売上構成変化等の影響については、
国内において、収益性の高いモデルの販売が
期初の想定以上に好調であることや、
海外でのモデルミックス改善や販価改定等の
収益改善の取組みの効果を反映し、
850億円 プラスを織り込みました。

通期業績予想 | 営業利益増減要因・対 24/3期実績

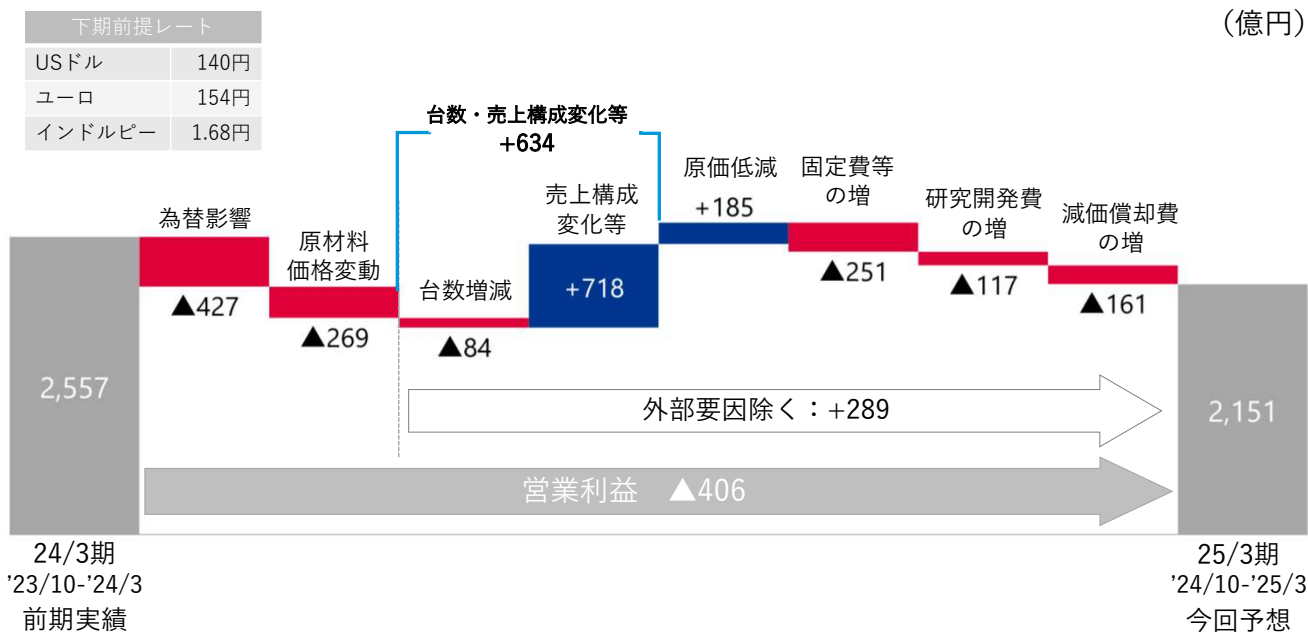


© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved. 16 / 19

上方修正した結果、
前期に対する 営業利益の増減要因の内訳は、ご覧の通りとなります。

下期見通し | 営業利益増減要因・対前年同期

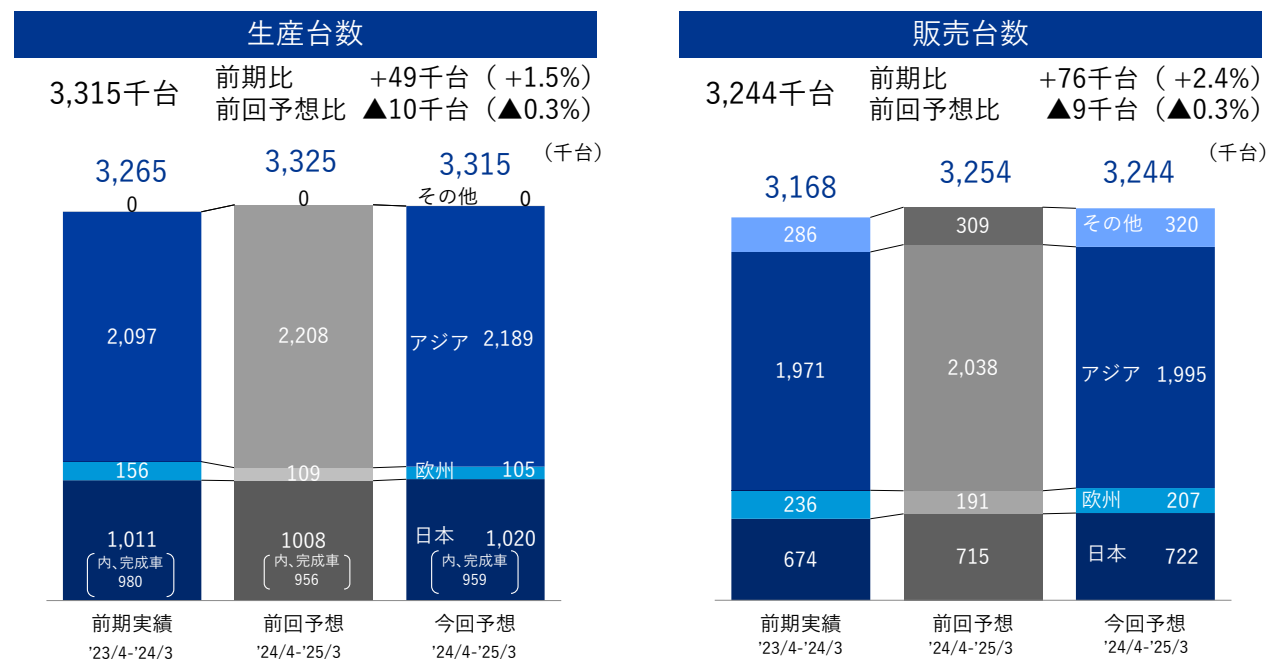
(億円)



© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved. 17 / 19

そのうち、下期だけを切り出しますと、
前年同期に対する営業利益の増減要因の内訳は、ご覧の通りとなります。

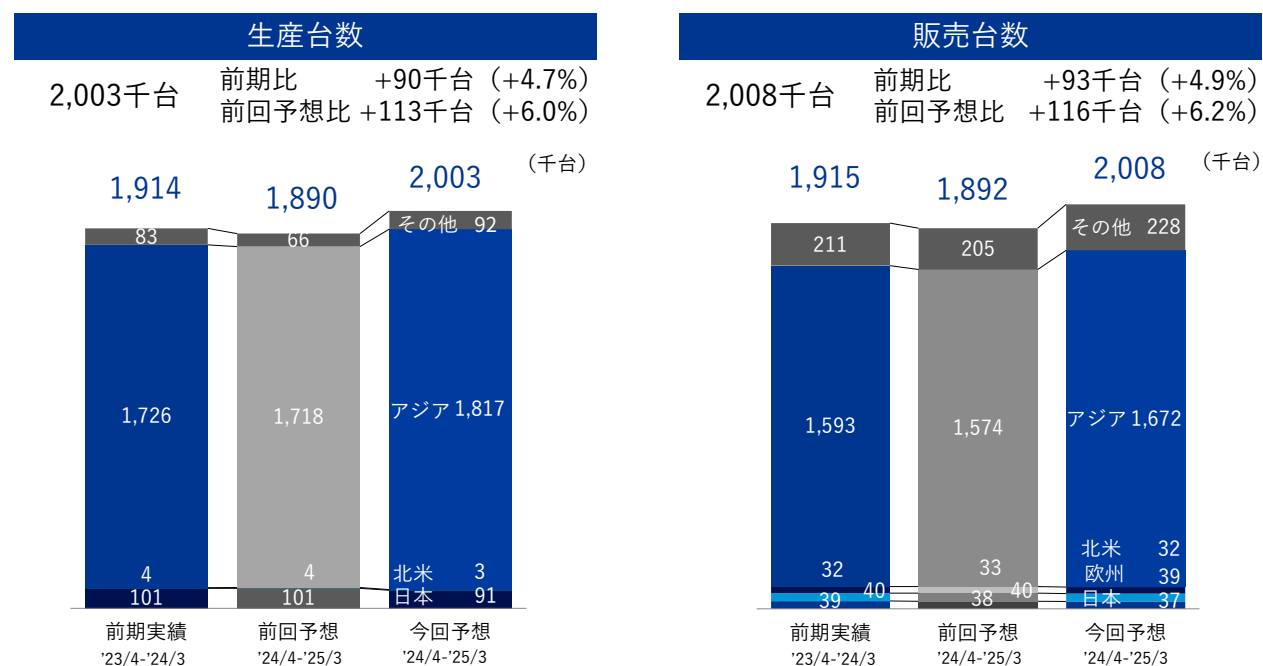
合計では、406億円の減益を見込んでいますが、
為替影響や原材料価格変動の外部要因を除いて
289億円の増益を見込んでいます。



最後に、台数の見直しについてご説明いたします。

四輪車の生産台数につきましては、
国内生産を上方修正する一方、
インドにて上期に実施した生産調整等を反映し、
世界生産合計では、前回予想から1万台下方修正しました。

販売台数につきましては、
国内や欧州にて上方修正しましたが、
インドでの上期実績を反映し、
世界販売合計では、前回予想から9千台下方修正しました。



二輪車につきましては、
インドでの好調な販売を反映し、

- ・生産台数は、11万3千台
- ・販売台数は、11万6千台

それぞれ上方修正しました。

以上で、第2四半期決算の説明を終わります。

なお、資料の次ページ以降に、補足資料として、
売上高の内訳等のデータを掲載していますので、
併せてご覧ください。

ご清聴ありがとうございました。

補足資料

© Suzuki Motor Corporation, 2023. All rights reserved.

2025年3月期 第2四半期決算 | 売上収益の状況



(億円)	四輪			二輪			マリン			その他			合 計			増減内訳	
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	為替影響	台数増減
国内計	6,966	5,940	+1,026	91	110	▲20	17	19	▲2	55	55	+1	7,129	6,124	+1,005		+368
自 社	6,398	5,445	+952	91	110	▲20	17	19	▲2	55	55	+1	6,561	5,629	+931		
O E M	568	495	+74										568	495	+74		
海外計	18,979	17,169	+1,810	1,893	1,676	+216	549	591	▲42				21,421	19,437	+1,984	+1,426	▲13
欧 州	3,063	2,866	+197	241	247	▲6	94	99	▲6				3,397	3,212	+185	+274	▲135
北 米	2	3	▲1	203	222	▲20	288	323	▲36				492	548	▲56	+37	▲48
アジア	12,802	11,604	+1,198	1,062	895	+167	65	68	▲2				13,930	12,567	+1,363	+885	+127
インド	11,261	10,235	+1,026	714	569	+145	6	4	+2				11,981	10,807	+1,173	+781	+57
〃以外	1,542	1,370	+172	348	326	+22	59	64	▲5				1,949	1,760	+189	+104	+73
その他	3,112	2,696	+416	387	312	+74	103	101	+2				3,601	3,109	+492	+230	+43
総合計	25,945	23,109	+2,836	1,983	1,787	+196	566	610	▲44	55	55	+1	28,550	25,561	+2,989	+1,426	+355
内、為替換算影響			+1,264														

注、当期…2024年4～9月期、前期…2023年4～9月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

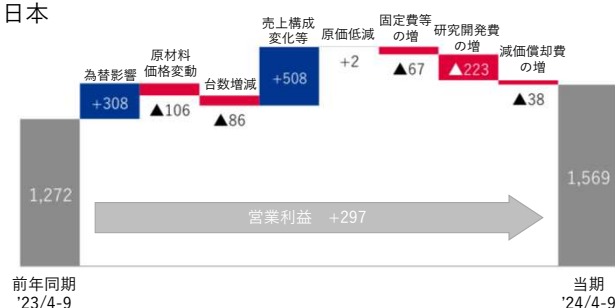
2025年3月期 第2四半期決算 | 所在地別業績、営業利益増減要因

所在地セグメント別業績

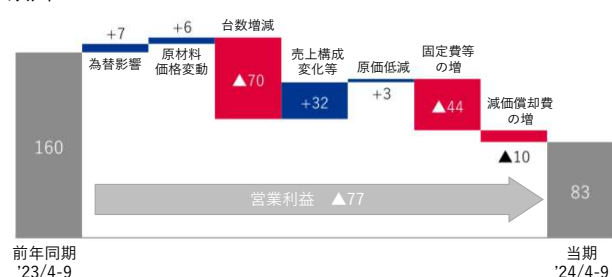
単位：億円

	'24/4-9			'24/7-9		
	売上収益	営業利益		売上収益	営業利益	
	前年比	前年比	利益率	前年比	前年比	利益率
日 本	14,354 +7%	1,569 +23%	10.9%	7,154 +3%	718 +12%	10.0%
欧 州	4,219 ▲4%	83 ▲48%	2.0%	1,953 ▲15%	27 ▲60%	1.4%
アジア	15,764 +11%	1,534 +21%	9.7%	7,892 +3%	797 ▲5%	10.1%
その他	2,264 +15%	61 ▲18%	2.7%	1,103 +13%	31 +53%	2.8%
セグメント間 消去	▲8,050 -	103 -	-	▲4,157 -	201 -	-
連結計	28,550 +12%	3,349 +41%	11.7%	13,945 +3%	1,774 +27%	12.7%

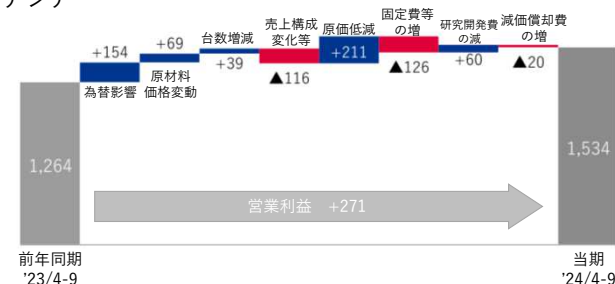
日本



欧州



アジア



© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

2025年3月期 第2四半期決算 | マルチ・スズキ・インディア社の業績



		ルピー建 (億ルピー) ※1			円換算額 (億円)		
		当第2四半期	前年同期※4	増減	当第2四半期	前年同期	増減
連結業績	売上収益	6,946	6,639	+ 308	12,781	11,418	+ 1,363
	営業利益※2 (利益率)	746 (10.7%)	618 (9.3%)	+ 129	1,373 (10.7%)	1,062 (9.3%)	+ 311
	税引前利益 (利益率)	998 (14.4%)	816 (12.3%)	+ 182	1,836 (14.4%)	1,404 (12.3%)	+ 432
	税引後利益 (利益率)	686 (9.9%)	633 (9.5%)	+ 53	1,263 (9.9%)	1,089 (9.5%)	+ 174
	為替レート	1.84円	1.72円	+ 0.12円			
	卸						
販売	国内販売※3	915千台	918千台	▲2千台			
	輸出※3	148千台	133千台	+ 16千台			
	合計	1,063千台	1,050千台	+ 13千台			

※1 ルピー建は、10月29日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値

※2 営業利益は次式により算出 営業利益 = Sales of product + Other operating revenues - Total Expenses + Finance costs

※3 国内販売および輸出はOEMを含む

※4 前年同期の業績値は、当期との比較のため、前年同期よりSMGを連結した前提で再計算した数値

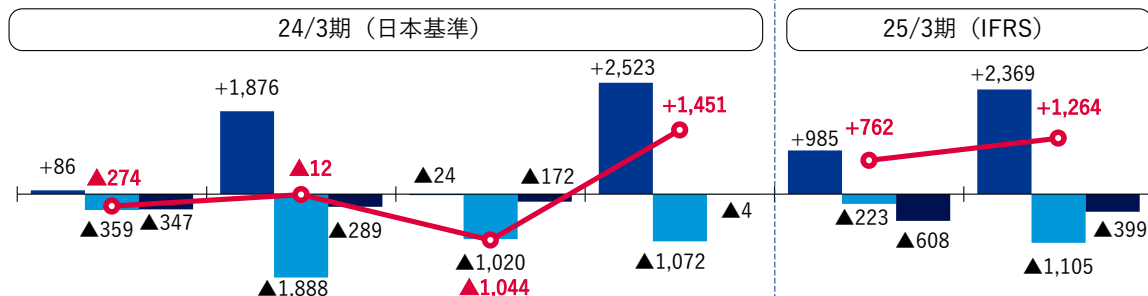
注、マルチ・スズキ・インディア社はIndAS (インド版IFRS) に基づき会計処理をしており、本数値はあくまでも参考値

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

2025年3月期 第2四半期決算 | 連結キャッシュフロー四半期推移



■ 営業活動CF ■ 投資活動CF ■ 財務活動CF ● フリーCF (億円)



	24/3期 (日本基準)				25/3期 (IFRS)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
フリーCF	▲274	▲12	▲1,044	+1,451	+762	+1,264
財務CF	▲347	▲289	▲172	▲4	▲608	▲399
(内、配当金支払額 ^{※1})	(▲245)	(▲203)	(▲268)	(▲2)	(▲324)	(▲301)
為替影響	+299	+31	▲128	+203	+198	▲313
キャッシュ増減	▲322	▲270	▲1,344	+1,650	+352	+552
キャッシュ残高	8,499	8,230	6,886	8,536	8,752	9,304
ネットキャッシュ	859	558	▲904	675	1,027	1,732
(月商比 ^{※2})	(0.2ヵ月)	(0.1ヵ月)	(▲0.2ヵ月)	(0.2ヵ月)	(0.2ヵ月)	(0.4ヵ月)

※1 非支配株主への配当金の支払額を含む。 ※2 月商比は、各期の通期売上高の平均月商をもとに算出

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

2025年3月期 第2四半期決算 | 設備投資等



	当期 ('24/4-9)	前年同期 ('23/4-9)	増 減
設備投資	1,682億円	1,322億円	+ 360億円
当社単独	425億円	299億円	+ 126億円
子会社	1,256億円	1,023億円	+ 234億円
(内、インド)	(965億円)	(756億円)	(+209億円)
減価償却費	946億円	876億円	+ 70億円
研究開発費	1,235億円	1,072億円	+ 163億円

※ インド：マルチ・スズキ社（グジャラートを含む）、SMIPL社、TDSG社、SRDI社、Sデジタル 5社の合計

※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含まない

※ 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載

	第2四半期末 ('24/9末)	前年同期末		前期末	
		('23/9末)	増 減	('24/3末)	増 減
有利子負債残高	7,571億円	7,669億円	▲97億円	7,859億円	▲288億円
連結子会社数	119社	118社	+1社	119社	±0社
持分法適用関連会社数	33社	31社	+2社	31社	+2社
従業員数	74,373人	72,444人	+1,929人	72,372人	+2,001人

※ リース負債は上記の実績に含まない

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

2025年3月期 第2四半期決算 | 為替レートと為替影響額



	当期 ('24/4-9)	前年同期 ('23/4-9)	前年同期比 増減		営業利益 為替影響	
					感応度 ^{※2}	影響額
インドルピー	1.84円	1.72円	+0.12円	+7.0%	+22億円	+155億円
ユーロ	166円	153円	+13円	+8.2%	+13億円	+103億円
米ドル	153円	141円	+12円	+8.3%	+7億円	+56億円
南アフリカランド	8.35円	7.56円	+0.79円	+10.4%	+3億円	+33億円
オーストラリアドル	101円	93円	+8円	+8.8%	+3億円	+29億円
パキスタンルピー	0.55円	0.49円	+0.06円	+12.2%	+2億円	+24億円
メキシコペソ	8.49円	8.13円	+0.36円	+4.4%	+5億円	+20億円
ポンド	196円	178円	+18円	+10.1%	+2億円	+19億円
その他 ^{※1}	—	—	—	—	+7億円	+38億円
営業利益為替影響額 合計					+62億円	+477億円

※1 その他…影響額+38億円のうち、ポーランドズロチ+18億円、ニュージーランドドル+5億円 ほか
 ※2 感応度…各通貨のレートが前年同期のレートから1%円安方向に動いた際の営業利益影響額

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

通期業績予想 | 為替レート

	通期予想	通期予想		前期実績	前期実績比 増減		営業利益 為替影響	
		今回 下期前提	前回 通期予想				感応度 ※2	影響額
ユーロ	160円	154円	157円	157円	+3円	+2.1%	+24億円	+51億円
南アフリカランド	8.09円	7.82円	7.70円	7.72円	+0.37円	+4.8%	+6億円	+30億円
ポーランドズロチ	38円	37円	36円	35円	+3円	+7.1%	+3億円	+19億円
米ドル	146円	140円	145円	145円	+1円	+1.0%	+14億円	+18億円
パキスタンルピー	0.53円	0.51円	0.52円	0.51円	+0.02円	+3.9%	+4億円	+15億円
オーストラリアドル	98円	94円	95円	95円	+2.60円	+2.7%	+5億円	+14億円
ポンド	189円	183円	184円	182円	+7円	+4.0%	+3億円	+13億円
インドルピー	1.76円	1.68円	1.75円	1.76円	±0円	-	+47億円	±0億円
メキシコペソ	7.92円	7.35円	8.55円	8.35円	▲0.43円	▲5.1%	+9億円	▲45億円
その他 ※1	—	—	—	—	—	—	+9億円	▲64億円
営業利益為替影響額 合計							+124億円	+50億円

※1 その他…影響額▲64億円のうち、インドネシアルピア▲9億円、台湾ドル▲5億円 ほか

※2 感応度…各通貨のレートが前期実績から1%円安方向に動いた際の営業利益影響額

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

(億円)	通期予想	前期実績	増減
設備投資	4,000	3,215	+ 785
減価償却費	2,000	1,769	+ 231
研究開発費	2,600	2,320	+ 280

※ 設備投資の前期実績はIFRS未集計のため日本基準の数値を記載
 ※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績・予想に含まない
 ※ 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載

IFRS適用に伴う主な変更点

項目	日本基準	IFRS	内容
有形固定資産の償却方法	定率償却	定額償却	移行日時점에保有する資産について、取得時まで遡って変更を遡及適用
研究開発費、ソフトウェア取得費の資産化	発生時に費用計上	資産計上後に償却	機種開発分やソフトウェア取得費が対象
一部の金融商品の評価差額	売却時に一括で損益計上	四半期ごとに損益計上	マルチスズキ保有の投資信託の評価差額



e VITARA



2025年3月期 第2四半期決算説明会

2024年11月8日
スズキ株式会社

(参考) 裏表紙画像

左 初のバッテリーEV「e VITARA」を欧州で初公開

右 二輪ショー「EICMA 2024（ミラノショー）」でのプレゼンテーション



将来予想に関する注意事項

- このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。
- 実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動などが含まれます。